

評価シート①

大項目「教育委員会の活動状況」

中項目	点検内容	活動 指標	29年 度	30年 度	比較増 減	自己評価結果
(1)教育委員会の 構成	①構成数	人	5	5	0	適正な規模を維持している。
	②年齢別	歳	61	60	△ 1.0	(各年度12月23日現在)
	③性別	男女 比率 (%)	40	40	0	適正な規模を維持している。
(2)教育委員会会 議の開催状況	①会議開催数	回	24	28	4	教育委員会会議規則で毎月22日に定例会を開催する規定に則り、毎月1回(年12回)の定例教育委員会は開催できた。 なお、前期教育委員会及び定例教育委員会の日程以外に、緊急に会議を開催する機会が多かったが、適切な段階で検討・意思決定を行うことができた。
	②延出席数(教育長除く)	人	94	102	8	延出席数の増は、開催回数の増によるものである。1回あたりの平均出席はH30 3.64人(H29 3.91人)であり、概ね委員の欠席はなく開催したため問題はない。
	③教育委員会開催における 運営上の工夫				0	説明に時間を要する案件の資料の事前送付、また、前期教育委員会をテーマを持った勉強会としたことによって、議論の活性化をはかることができた。
(3)教育委員会会 議の情報公開の状 況	①会議傍聴数	人	11	0	△ 11	平成30年度は3月定例教育委員会を総合教育センターで開催するなど、開催場所の工夫を試みたが傍聴者はなかった。今後も、会議開催時間や場所を工夫し、参加しやすい環境づくりに努めたい。
	②議事(要)録の公表	件	12	12	0	平成30年度も引き続き遅滞なく議事録を公表することができた。

評価シート①

中項目	点検内容	活動 指標	29年 度	30年 度	比較増 減	自己評価結果
(4)行政等が主催する行事への出席数(教育長除く)	①参加回数	回	142	172	30	行政等が主催する行事に対して、出席努力・自主判断の区分をしている。 前年度から30回増となり、活動量としては、昨年度より21%程度増加している。 30年度は、世界遺産登録・故下村脩博士追悼式典等、毎年出席している行事以外に対応を要する行事が多く開催され、可能な限り出席したことにより参加回数が増加することとなった。
(5)議会出席状況	①議会の出席状況(教育長除く)	回	0	0	0	27年8月から新教育委員会制度に移行したことで、議会への出席ができなくなったため、教育長以外の委員の出席はなかった。しかし、定例会ごとの一般質問等の質疑内容について、直近の定例教育委員会で報告しており、委員、事務局間で情報の共有はできている。
(6)首長との連携	①意見交換会の状況	人	8	8	0	改正地教行法に則り、総合教育会議として公式行事の形で開催した。 2回の会議に延べ8名の出席で、全員が参加している。このことは教育委員としての役割を十分果たしているものとする。
(7)教育委員の自己研鑽	①研修会等への参加状況	回	104	125	21	研修に関し、出席努力・自主判断の区分をしている。 自主判断による研修への参加回数は、前年度から21回増となり、活動量として20%程度増加している。 委員各位それぞれの分野で十分な研修活動を行っているとする。
(8)学校訪問	①学校訪問(A) 訪問率	%	88.6	76.7	△ 11.9	学校訪問(A)については延べ60名の出席努力数に対し、47名と欠席することがあった。しかし、校長に異動があったり、新たな取り組みを行う学校について、どのような学校運営をしているのかなどの状況把握を目的に、本来出席努力としていない学校訪問(B)にも、積極的に参加している。
(9)教育に関連する外部団体等との意見交換	①意見交換等回数	回	32	46	14	市P連や教育会等、本市教育行政の推進に重要な役割を果たしている団体を中心に、意見交換を行っている。 関連団体の定例的な会議への出席だけでなく、幼児・家庭教育や発達障害に関する会議等、幅広い分野との意見交換を行うことができた。